

| | | | | | | | | |
|--|---|------|-------|---|---|----------|------------|----|
| 授業科目 | 教職実践演習(栄養教諭) | | | | 単位 | 2 | | |
| 履 修 | 選択 | 関連資格 | 栄教一種免 | | ナンバリング | NT34129J | | |
| 開講年次 | 4 | 開講時期 | 後期 | 該当DP | DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP4-2 DP5-1 | | | |
| 担当教員 | 扇谷 恵美子、杉谷 修一、新谷 恭明、一期崎 直美、塚本 美紀、手嶋 英津子、西丸 月美、太田 かおり | | | | | | | |
| 授業概要 | この演習は、これまでの教職課程での学習と教育実習を振り返りながら、栄養教諭としての使命感、保護者や地域への責任、信頼される学校づくり等の課題について考える機会となることを意図している。また、児童生徒等の理解の方法や専門性を高めるためのリソース活用など、各演習テーマについて、グループ学習や討論・発表といった演習形式で学習し、栄養教諭の実践的スキルと資質・能力の向上を目指す。 | | | | | | | |
| 学生が達成すべき行動目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 教職課程関連科目について振り返り、各自に残された課題を確認する。 2. 栄養教諭として求められる資質・能力を具体的な学校場面に位置づけて考えることができる。 3. 信頼される学校づくりに資する栄養教諭のあり方についての理解を深めることができる。 4. 児童生徒等の理解の方法とそれに基づく教育活動について実践力を高めることができる。 5. 食の指導の計画・実施・評価に関する実践力を高めることができる。 6. 栄養教諭としての自律的な成長に必要なリソースの活用方法を身につけることができる。 | | | | | | | |
| 達成度評価 | | | | | | | | |
| 評価と評価割合／ 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 発表(口頭、プレゼンテーション) | レポート外の提出物 | その他 | 合計 | 備考 |
| 総合評価割合 | 0 | 0 | 50 | 40 | 10 | 0 | 100 | |
| 知識・理解 (DP1-1) | | | | | 5 | | 5 | |
| 知識・理解 (DP1-2) | | | 10 | 10 | | | 20 | |
| 知識・理解 (DP1-3) | | | | | | | | |
| 知識・理解 (DP1-4) | | | | | | | | |
| 思考・判断 (DP2-1) | | | | 10 | | | 10 | |
| 思考・判断 (DP2-2) | | | | | | | | |
| 関心・意欲 (DP3-1) | | | | | 5 | | 5 | |
| 関心・意欲 (DP3-2) | | | | | | | | |
| 態度(DP4-1) | | | 20 | | | | 20 | |
| 態度(DP4-2) | | | 10 | 20 | | | 30 | |
| 態度 (DP4-3) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-1) | | | 10 | | | | 10 | |
| 技能・表現 (DP5-2) | | | | | | | | |
| 技能・表現 (DP5-3) | | | | | | | | |
| 具体的な達成の目安 | | | | | | | | |
| 理想的レベル | | | | 標準的なレベル | | | | |
| 栄養教諭としての使命感、保護者や地域へのかかわり、学校づくり等の課題について考える意識や態度・姿勢をもつことができる。また、自らが栄養教諭として食に関する指導に対する認識を深め、教育現場でどのような食教育を行うことが必要なかを考え出すことができる。 | | | | 教育現場の実践から残された課題を整理し、今後栄養教諭として自己の教育活動の参考にすることができる。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | | | | |
| 進行 | テーマ・講義内容 | | | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) | | 予習・復習時間(分) | |

| | | | | |
|----|--|-----|--|----|
| 1 | テーマ: イントロダクション(全員) これまでの教職課程の学習について振り返り、各自の残された課題を確認する。 | 演習 | 演習内容を踏まえて履修カルテを再点検する。 | 60 |
| 2 | テーマ: 栄養教育実習の再点検(1) 討論(扇谷・手嶋) 教育実習後の課題についてその解決に向けてグループで討議し、各自の課題を明らかにする。 | 演習 | 授業内容の定着を図る。 | 60 |
| 3 | テーマ: 栄養教育実習の再点検(2) 発表(扇谷、手嶋) 各自の課題発表および全体討議を行う。 | 演習 | 授業内容の定着を図る。 | 60 |
| 4 | テーマ: 教師にとっての使命感(杉谷修一) 教師の使命感について各自の考えを整理し、グループ討議を行うことを通じ、教師の使命感を涵養する。 | 講義 | 授業内容の定着を図る。 | 60 |
| 5 | テーマ: 保護者・地域・関係諸機関との連携(外部講師、扇谷、手嶋) 保護者・地域に対する教師の責任とそれを果たす具体的方策について学ぶ。 | 講義 | 授業を振り返りレポートを提出する。 | 60 |
| 6 | テーマ: 特別支援教育(外部講師、扇谷、手嶋) 学校における特別支援教育について学ぶ。 | 講義 | 授業を振り返りレポートを提出する。 | 60 |
| 7 | テーマ: 養護教諭との連携について(扇谷・手嶋) 栄養教諭、養護教諭それぞれの職務について理解し、養護教諭との連携について検討する。 | 演習、 | | 60 |
| 8 | テーマ: 「教育現場が求める栄養教諭像とは」(外部講師・扇谷・手嶋) 栄養教諭の役割、教科の連携、地域との連携について学ぶ。 | 演習 | 授業を振り返り、レポートを提出する。 | 60 |
| 9 | テーマ: 食に関する指導の再点検(扇谷・手嶋) 教育実習の授業課題を振り返り、食に関する指導内容の課題解決を目的に指導案を再検討する。 | 講義 | 授業を振り返りレポートを提出する。 | 60 |
| 10 | テーマ: 模擬授業(1)(扇谷・手嶋) 模擬授業(学級活動)を通じて、実践力向上のための授業計画・実施・評価を行う。 | 演習 | 演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みと指導案を検討し、次回の演習に臨む。 | 60 |
| 11 | テーマ: 模擬授業(2)(扇谷・手嶋) 模擬授業(家庭科)を通じて、実践力向上のための授業計画・実施・評価を行う。 | 演習 | 授業内容の定着を図る。 | 60 |
| 12 | テーマ: リソース活用法(扇谷・手嶋) 栄養教諭として専門性向上のためのリソースの活用法について解説する。 | 演習 | 授業内容の定着を図る。 | 60 |
| 13 | テーマ: 資質・能力の向上に向けた課題の確認(全員) 教師として求められる資質・能力の向上を図るうえで取り組むべき各自の課題について確認する。 | 講義 | 演習内容を踏まえて各自の具体的な取り組みを検討し、次回の演習に臨む。 | 60 |
| 14 | テーマ: まとめ(全員) 演習を通して学習した内容について振り返り、さらに実践力の向上を図るための課題を明確にする。また、課題への具体的な取り組みを確認する。 | 演習 | 各自の課題解決の取り組みに向けた実践に取り組む。 | 60 |
| 15 | | | | |
| 16 | | | | |
| 17 | | | | |
| 18 | | | | |
| 19 | | | | |

| | | | | |
|-----------------------|--|--|--|--|
| 20 | | | | |
| 21 | | | | |
| 22 | | | | |
| 23 | | | | |
| 24 | | | | |
| 25 | | | | |
| 26 | | | | |
| 27 | | | | |
| 28 | | | | |
| 29 | | | | |
| 30 | | | | |
| | | | | |
| 理解に必要な予備知識や技能 | 小学校で実施された査定授業の評価及び教育実習反省会の課題についてどのように改善し解決したらよいのかを検討し、振り返り学習をしてから授業に臨むこと。 | | | |
| テキスト | 指定しない。 | | | |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 授業において適宜レジュメ等を配布する。履修カルテ、教育実習ノートなどを活用する。 | | | |
| 授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ | この演習は栄養教諭を目指すにあたって、今まで学んだ内容を総合的に整理し、学生の一人ひとりが目指す栄養教諭像を構築し、今後の知識・技術向上に役立てるように取り組んでください。 | | | |
| 達成度評価に関するコメント | 試験、レポート、提出物、プレゼンテーションなどについては授業の中で指示する。 | | | |

